



皆に乗ってもらえる町民バスに

町政を問う!

一般質問



ひがしがきのりお 東垣 典雄 議員

全但バス路線は、利用者の減少と運転士不足などで、路線の廃止、減便をされた。
公共交通空白地帯をつ

町民バス、デマンド型運行への移行を!! 一部路線で運行中、射添線で実証実験を実施



くらない対応、高齢者福祉対応などを目的に、町民バス(路線定期型)9路線を運航している。
①各路線の現状を伺う
②高齢者などバス停まで歩行が困難な町民の移動手段をどうするか
③デマンド型乗り合い交通への移行は

町長 ①町民バスの現状は、令和6年度28,999人の乗車で1便平均乗車人数1.9人です。
村岡境線が4.2人、佐津柴山線が3.4人この2路線は、通学利用者が大半を占めています。
余部線が1.2人これ以外の6路線は1.0人を下回っています。

②町民バスタクシー利用助成等により公共交通の充実に努めてまいりましたが全ての方に満足いただけず、交通体系を構築することは非常に難しいです。
③奥佐津、余部線において定時定路線デマンド運行を実施、秋には射添線でデマンド実証実験を実施する予定です。

6月定例会での一般質問は14人の議員が町政全般について質問を行いました。

一般質問は、議員が町政全般について執行状況や将来に対する考え方などを町長や教育長に問うものです。

議員一人当たりの持ち時間は、町長の答弁を除き30分以内と決められています。

内容については、議員本人が執筆(要約)したものを掲載しています。

(※QRコードでそれぞれの様子を視聴できます)